

配管リフォーム用継手 接続手順および注意事項

- ・本製品は、給水・給湯及び空調用の配管部材です。本書をお読みになる前に、必ず当社ウェブサイト掲載の「プッシュマスターカタログ」の注意事項を注意深く読み、よく理解してください。
- ・製品を使用する前に本書を注意深く読み、よく理解してください。
- ・いつでも使用できるように本書を大切に保管してください。

注記

この表示は、指示に従わないと、他の財物の損傷、製品自体の故障・損傷、性能不発揮、誤作動などを引き起こす可能性があります。

● 配管リフォーム用継手の品番 と 適合管種

配管リフォーム用継手 品番	適合パイプ	
	既設パイプ	新設パイプ
NCRH13J×13A	ポリブテン管 呼び径13 JIS K 6778	ブリヂストン製 ポリブテン管 JIS K 6778
	架橋ポリエチレン管 呼び径13 JIS K 6769 (PN15 XM種) JIS K 6787 (XM種)	
NCRX13J×13AXE ※芯材が金属製	架橋ポリエチレン管 呼び径13 JIS K 6769 (PN15 XE種) JIS K 6787 (XE種)	
NCRH16J×16J	ポリブテン管 呼び径16 JIS K 6778	
NCRH16J×16A ※ナットに切り欠き	架橋ポリエチレン管 呼び径16 JIS K 6769 (PN15 XM種)	
NCRX16J×16AXE ※芯材が金属製 ※ナットに切り欠きが2つ	架橋ポリエチレン管 呼び径16 JIS K 6769 (PN15 XE種) JIS K 6787 (XE種)	

- ポリブテン管は、1997年にJIS規格の改訂を行っておりますが、本製品は、1997年JIS規格改訂以前のパイプにも接続が可能です。

注記

適合パイプ以外のパイプは接続しないでください。漏水の原因となります。

● 保証条件と新設管のパイプ接続手順

- ・既設パイプに起因する不具合については、当社プッシュマスターカタログ記載の保証条件外となります。
- ・既設パイプから接続を行います。新設パイプの接続は、当社ウェブサイト掲載の「プッシュマスターカタログ」に記載されている「パイプ接続手順」に従って作業を行ってください。

株式会社ブリヂストン

詳細はこちら→



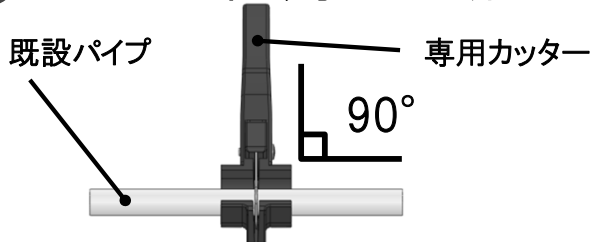
HP : <https://www.bridgestone.co.jp/products/dp/pushmaster/index.html>

2023.3 (S)

既設パイプ側 接続手順

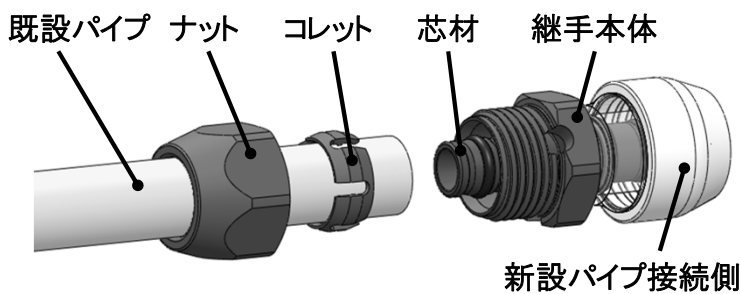
下記①～⑤の接続手順を必ず厳守してください。

① パイプを直角に切断します。



注記 斜めに切断しないでください。
2mm以上の斜め切断の場合、Oリングが脱落する場合があります。
(専用カッターは、NK200を推奨します。)

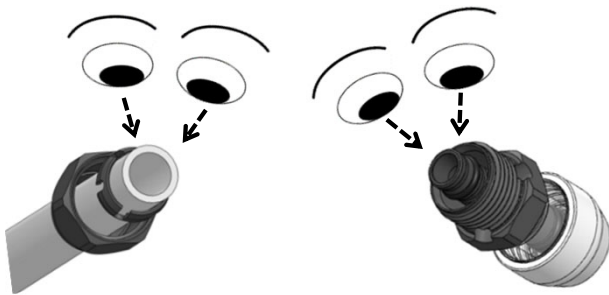
② ナットとコレットをパイプに通します。



- 継手からナットとコレットを取外し、ナット、コレットの順でパイプに通してください。
- ナットは図の向きに通します。
通す向きを間違えると締付できません。
コレットに通す向きはありません。

注記 既設パイプに対応した継手であることを確認してください。対応外の継手を使用すると漏水の原因となります。

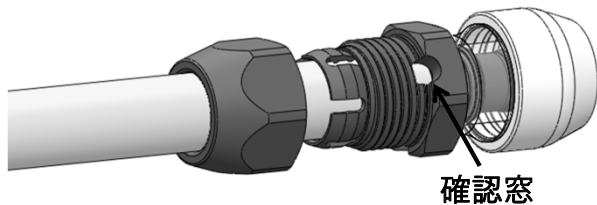
③ 異常がないか確認します。



注記 異物付着、変形等の異常のあるパイプ、継手は使用しないでください。漏水の原因となります。

注記 劣化(パイプ内面の白化、ひび割れ、減肉等)しているパイプは使用しないでください。また、パイプ内外面に傷がある場合は、傷がない部分を使用してください。漏水の原因となります。

④ パイプを差込みます。

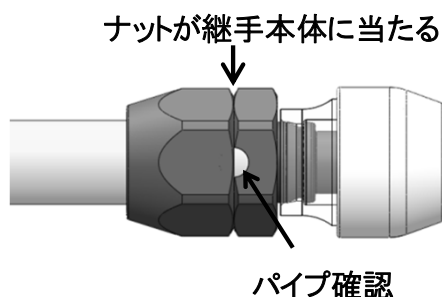


- 確認窓からパイプが目視できる位置までパイプを差込んでください。

注記 差込不足は、漏水の原因となります。

注記 斜め差込みをしないでください。Oリングにダメージを与える可能性があります。

⑤ ナットを締付けます。



- ナットが継手本体に当たるまで締め付けます。
トルク管理は不要です。

※トルク管理する場合の目安

- ・NCRH13J×13A, NCRX13J×13AXE : 25Nm
- ・NCRH16J×16J, NCRH16J×16A, NCRX16J×16AXE : 45Nm

- 確認窓からパイプが目視できるか確認します。
パイプが目視できない場合は差込不足です。

注記 ナット締め付け後にナットを緩めないでください。また、一度締め付けを行った部材を再度使用しないでください。漏水の原因となります。